

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-243300

(P2001-243300A)

(43) 公開日 平成13年9月7日 (2001.9.7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	キーワード* (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 13/00	3 5 4 Z 5 B 0 4 9
	Z E C	H 0 4 M 15/00	Z 5 B 0 8 9
13/00	3 5 4	G 0 6 F 15/21	3 3 0 5 K 0 2 5
H 0 4 M 15/00			Z E C Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-55679(P2000-55679)

(22) 出願日 平成12年3月1日 (2000.3.1)

(71) 出願人 599031364

株式会社ホットボット

大阪府大阪市港区弁天1丁目2番1-1100号

(72) 発明者 夏目 三法

大阪府大阪市西区西本町2-4-10 浪華ビル202株式会社ホットボット内

(72) 発明者 長谷川 博之

大阪府大阪市西区西本町2-4-10 浪華ビル202株式会社ホットボット内

(74) 代理人 100072213

弁理士 辻本 一義

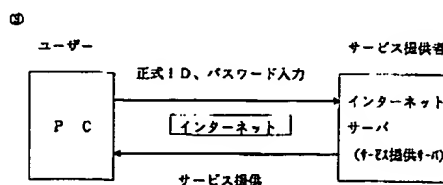
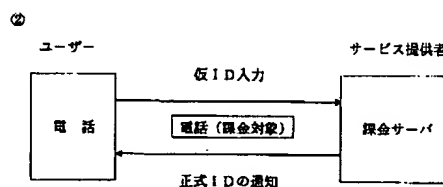
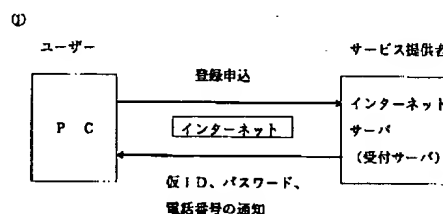
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サービス提供システム

(57) 【要約】

【目的】 手続きが簡単で、セキュリティに優れ、しかも小額な決裁でも利用しやすいサービス提供システムを提供すること。

【構成】 この発明のサービス提供システムは、ユーザーが受付サーバにアクセスして電話番号、仮ID及びパスワードを入手できるようにし、さらに、ユーザーが前記電話番号で課金サーバにアクセスして仮IDを入力すると、正式IDを入手できると共に、この課金サーバとの通信に対して課金を行うようにし、そして、ユーザーがサービス提供サーバにアクセスして正式IDとパスワードを入力すると、適宜のサービスの提供が受けられるようにしている。



(4)

特開2001-243300

Fターム(参考) 5B049 AA01 AA05 BB11 CC01 EE23

GG02

5B089 GA11 GA21 GA26 GB04 HA01

HA10 JB05 KA17 KB13

5K025 BB10 CC01

よりサービスの提供を行う。サービスの提供の方法は特に限定されない。また、インターネットサーバは、顧客情報のデータベースを備えており、登録したユーザーの仮IDとこの仮IDに割り振られたユーザーの識別番号、正式ID等を保存している。以上のように、このサービス提供システムでは、正式IDとパスワードがそれぞれ別々に発行されるため、正式IDとパスワードが同時に他人に漏洩することがなく、安全である。また、ユーザーと課金サーバとの通信に対して課金を行うため、クレジットカードや銀行振込による決裁に比べて手数料が割安であり、小額の決裁に適している。しかも、クレジットカードの契約や銀行口座の開設の必要がなく、手続が簡単である。なお、ユーザーとインターネットサーバとのやり取りは、ネットスケープコミュニケーションズ社の開発したSSL (Security Socket Layer) 等の暗号通信方式を利用するとよい。

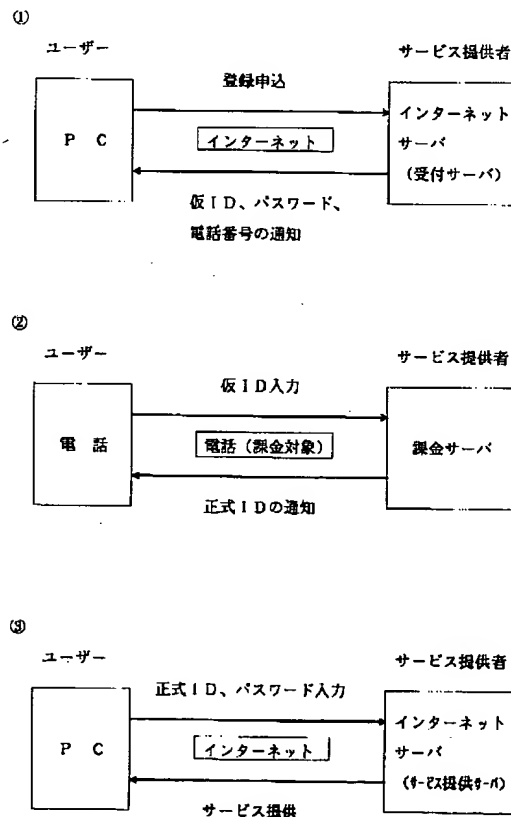
また、各ユーザーにサービスの有効期限を設定することにより、期限が到来すると、再度登録を行わなければサービスを利用できなくなるようにするとよい。このようにすれば、IDやパスワードが漏洩したとしても、不正なサービスの利用が長期間にわたって行われることを防止できる。このサービス提供システムは、インターネット上で運用されている各種の情報提供サービスやソフトウェアの利用、あるいはインターネットサービスプロバイダーの接続サービス等に利用することができる。

【発明の効果】この発明に係るサービス提供システムは、上述のような構成を有しており、手続きが簡単で、セキュリティに優れ、しかも小額な決裁でも利用しやすいものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係るサービス提供システムの実施形態の説明図。

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 今井 理江  
大阪府大阪市西区西本町2-4-10 浪華  
ビル202株式会社ホットボット内

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザーが受付サーバにアクセスして電話番号、仮ID及びパスワードを入手できるようにし、さらに、ユーザーが前記電話番号で課金サーバにアクセスして仮IDを入力すると、正式IDを入手できると共に、この課金サーバとの通信に対して課金を行うようにし、そして、ユーザーがサービス提供サーバにアクセスして正式IDとパスワードを入力すると、適宜のサービスの提供が受けられるようにしたことを特徴とするサービス提供システム。

【請求項2】 課金サーバがユーザーに対して音声で応答するものとした請求項1記載のサービス提供システム。

【請求項3】 インターネットに接続されたコンピュータにより、受付サーバ及びサービス提供サーバの機能を実現している請求項1又は2記載のサービス提供システム。

## 【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネットのホームページ等を利用して各種の情報等を提供するサービスについて、ユーザーに課金をすることができるようにしたシステムに関するものである。

【従来の技術】近年、インターネットのホームページ等を利用して各種の有料の情報提供サービスが行われているが、その代金の支払いは、クレジットカードや銀行振込等を利用していた。しかし、クレジットカードや銀行振込では、手数料が高いため小額の決裁には不適切であった。しかも、事前にクレジットカードの契約や銀行口座の開設をしておかなければならず、手続きが面倒であった。また、アクセス制限付きのホームページへのアクセス、クレジットカードや銀行振込の手続きにおいて、識別番号やパスワードを入力する際のセキュリティに問題があることが多い。

【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は、手続きが簡単で、セキュリティに優れ、しかも小額な決裁でも利用しやすいサービス提供システムを提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、この発明は次のような技術的手段を講じている。この発明のサービス提供システムは、ユーザーが受付サーバにアクセスして電話番号、仮ID及びパスワードを入手できるようにし、さらに、ユーザーが前記電話番号で課金サーバにアクセスして仮IDを入力すると、正式IDを入手できると共に、この課金サーバとの通信に対して課金を行うようにし、そして、ユーザーがサービス提供サーバにアクセスして正式IDとパスワードを入力すると、適宜のサービスの提供が受けられるようにしたものである。課金サーバがユーザーに対して音声で応答するものとしてもよい。インターネットに接続されたコンピュータにより、受付サーバ及びサービス提供サーバの

機能を実現したものとすることもできる。

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。この発明に係るサービス提供システムは、ユーザーが受付サーバにアクセスして電話番号、仮ID及びパスワードを入手できるようにし、さらに、ユーザーが前記電話番号で課金サーバにアクセスして仮IDを入力すると、正式IDを入手できると共に、この課金サーバとの通信に対して課金を行うようにし、そして、ユーザーがサービス提供サーバにアクセスして正式IDとパスワードを入力すると、適宜のサービスの提供が受けられるようにしている。図1は、この発明に係るサービス提供システムの実施形態の一例を示す説明図である。この実施形態では、インターネットに接続された1台のコンピュータ（以下、インターネットサーバという）で、受付サーバとサービス提供サーバの両方の機能を実現している。なお、インターネットサーバと課金サーバはLAN等で接続され、相互に情報交換できるようになっている。また、インターネットサーバを、課金サーバとしての機能をも兼ね備えたものとすることにより、1台のコンピュータで受付サーバ、サービス提供サーバ及び課金サーバのすべての機能を実現してもよい。ユーザーは、まずパソコンのWWWブラウザを使用して、インターネット経由でインターネットサーバの管理下にあるホームページ（登録受付のページ）にアクセスし、登録作業を行う。ここでは、インターネットサーバは受付サーバとして機能する。インターネットサーバは、登録フォームをホームページに表示して、ユーザーに名前や住所等の適宜の項目への入力を促す。そして、登録フォームの入力項目に問題がなければ、そのユーザーを登録し、仮ID、パスワード及び電話番号をユーザーに通知する。通知の手段は、ホームページ上での表示、電子メール等適宜である。次にユーザーは、プッシュボタン式の電話で、インターネットサーバから通知された前記電話番号をダイヤルし、課金サーバに電話をかける。電話が繋がると、課金サーバは、音声によりユーザーに仮IDの入力を促す。ユーザーが仮IDをプッシュボタンで入力すると、課金サーバは正式IDを音声で通知する。ユーザーと課金サーバとの通信は、NTTのダイヤルQ2サービスのような、有料ダイヤルサービスを利用する。サービス提供者は、ユーザーと課金サーバとの通信に対して適宜金額を課金し、これを後述のサービス提供に対する対価として受領する。そして、ユーザーはパソコンのWWWブラウザを使用して、インターネット経由でインターネットサーバの管理下にあるホームページ（サービス提供のページ）にアクセスする。ここでは、インターネットサーバはサービス提供サーバとして機能する。インターネットサーバは、ユーザーに対して正式ID及びパスワードの入力を要求し、ユーザーが入力した正式ID及びパスワードの認証を行い、問題がなければ、ホームページ上で各種の情報を表示することに